

# 壁画共同制作「よろしくね」



キルギス共和国の高校生とスカイプを使って初顔合わせする生徒たち

室蘭・海星学院高校(香川謙二校長)の2年生がこのほど、キルギス共和国の高校生と壁画を制作するため、インターネットのテレビ電話、スカイプを使って交流を深めた。初対面の生徒らは自己紹介に続き、テーマを決めプレゼンテーションを行い「素晴らしい絵を完成させたい」と意気込んでいる。

絵の制作を通して世界で活躍する次世代を育てる活動を行うジャパン・アートマイルの国際交流壁画共同制作プロジェクト(文部科学省、外務省後援)の一環。同高では2年前から活動を開始し、今年で3回目。今年、両校がそれぞれ六つの

## 室蘭・海星学院とキルギスの高校生

テーマに沿った絵を描き、12枚をつなげて一つの絵にして完成させる。生徒たちはまず、自己紹介をし「よろしくね」。同国の生徒は民族衣装やダンスなどを披露。海星学院側はキルギスから要望のあった「日本における障害者の対応について」を英語でプレゼンテーションした。

絵のテーマは自然、文化、スポーツ、世界的な問題、環境、自分たちの学校についての六つに決まった。絵の制作は11月から始め、12月下旬に同国へ発送する。

小林凡央さんは「スカイプでの交流は初めてで世界の人々と簡単につながることをあらためて実感しました。キルギス共和国の高校生と協力して一つの絵を完成させたいです」と話している。

(石川綾子)

## スカイプ使い交流